

第34期第3回常任理事会議事録

日 時：2006年10月25日（水）17時00分～18時30分

会 場：ウィルあいち（名古屋市東区上堅杉町）

出席者：新野，岩崎，近藤，里村，多田，田中，
中島，中村，板東，藤谷，藤部，古川，
以上12名。

その他の出席者：渡辺（事務局）

議 事

1. 第34期第2回常任理事会議事録の確認
2. 第34期第4回理事会議事録の確認
3. 各委員会からの報告

庶務…後援名義等使用依頼受け付け

名称：第18回国際生気象学会議

- 1) 主催：国際生気象学会（ISB）
- 2) 期日：2008年9月22日（月）～26日（金）
- 3) 場所：タワーホール船堀（東京都江戸川区船堀）
- 4) 名義：協賛

名称：CAWSES（Climate and Weather of the Sun-Earth System）に関する国際シンポジウム

- 1) 主催：京大生存圏研究所ほか4団体
- 2) 期日：2007年10月23日（火）～27日（土）
- 3) 場所：京都大学時計台ホール（京都市左京区吉田本町）
- 4) 名義：共催

名称：ICCM（International Conference on Computational Methods）2007

- 1) 主催：ICCM2007実行委員会（実行委員長：野口裕久・慶應義塾大学理工学部教授）
- 2) 期日：2007年4月4日（水）～6日（金）
- 3) 場所：広島国際会議場（広島市鏡山）
- 4) 名義：協賛

- ・平成18年度東レ科学賞及び第14回日産科学賞の推薦書を送付。
- ・平成19年度科学研究費補助金応募説明会が10月12日（木）に開催された。
- ・2007年の“天気”印刷の入札説明会を10月17日（火）に開催。入札は10月27日（金）の予定。
- ・平成18年度公益法人概況調査の回答を，文部

科学省学術研究助成課に提出。

会計…2006年9月分の収支報告。

- ・総務省の指導により，収支計算書の科目の項目を，「事業活動」，「投資活動」及び「財務活動」に組み替えた。

天気…Vol. 53 No. 10（2006年10月号）の掲載記事と，Vol. 53 No. 11（2006年11月号）掲載予定記事の報告。

- ・125周年記念事業で実施中の過去記事のアーカイブが順調に進み，現在，検索用の設定を行っている。引き続き，アーカイブ記事の著作権移譲に係る対応を進める。

気象集誌…125周年特別号の原稿が予定通りに集まっていない。過去論文のアーカイブは，J-STAGEのキャンペーンで第1巻は完了したが，引き続き作業日程については未定。

気象研究ノート…125周年特別号の第一部「次世代に伝えたいこと」の著者数が公募予定数に達していないので増やしたい。

- ・毎年3号程度の発行を見込んでいるが，今年は困難な状況である。

SOLA…処理に時間を要していた論文の掲載をすべて完了するなど，編集作業は順調。

- ・英国の共著者を含む論文に対し，“crown copyright”の記載が必要となった。ただし，論文の転載等に影響するものではない。

講演企画…2007年度春季大会の専門分科会に，これまで2件の提案があった。

- ・2007年度の地球惑星科学連合大会におけるスペシャルセッション2件及びユニオンセッション1件について気象学会が共催または後援することが了承された。

教育と普及…夏季大学が専門家向けだったので，来年度の春季大会に連動して，一般向けの啓発的な講演会或いはセッションを企画したい。

電子情報…2006年9月1日～9月30日の気象学会ホームページのアクセス状況（125,280件）。夏季大学の資料へのアクセスが多い。

- ・学会や各委員会メーリングリスト等の情報基盤が散在しているので，それらをまとめる独自サーバの設置について，来年度の予算要求

を視野に入れて議論したい。

- 学会ホームページ表紙デザインの変更案を作成。
- ホームページの研究連絡会リンクに、「統合的陸域圏研究連絡会」を追加。
- 日中韓合同シンポジウムの開催情報を掲載。
- 研究員や教員の募集記事を掲載。
- 顕彰や助成の候補者募集記事を掲載。
- 講演会等の開催及び参加者募集記事を掲載。

125周年…2007年の“天気”巻頭言に続き、記念行事に関するお知らせを掲載したい。

4. 会員の加入・退会

新入会員 7, 退会 6 を承認。10月19日現在、会員数4,149名。通常会員数は現在1,075名。

5. 第5回理事会の議題と概要

予定される議題及び資料の内容を確認した。

6. その他

- (1) アイソトープ・放射線研究会の運営委員につい

て

前任の廣田道男会員の推薦により、廣瀬勝己会員（気象研究所地球化学研究部長）に第44回研究発表会（2007年7月）の運営委員を依頼し、了承いただいたことが、事務局から報告された。

- (2) 「わが国における海洋研究船のあり方に関する提言（案）」について

標記提言のシンポジウム及びワークショップ世話人から、提言に対する理解と協力を求める依頼があったので、引き続き検討することとした。

- (2) 日本学術会議における IAMAS 小委員会の設置について

中島理事から、学術会議における大気科学分野の国際対応に係る体制を充実させるため、10名程度の委員で IAMAS 小委員会を組織する検討を進めていることが報告された。このことについて、気象学会に対し候補者の推薦についての協力が求められた。